

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援・放課後等デイサービス リンリン			
○保護者評価実施期間	令和 8 年 3 月 1 日		～	令和 8 年 3 月 31 日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	24	(回答者数)	23
○従業者評価実施期間	令和 8 年 3 月 1 日		～	令和 8 年 3 月 31 日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数)	6
○事業者向け自己評価表作成日	令和 8 年 5 月 20 日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的にやっている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	職員での情報共有や振り返りを行い、チームで支援を行っている。	・支援前後に職員間で打ち合わせや振り返りを行い、情報共有を徹底している。 ・できなかったことだけでなくできたことも報告し,みんなで共有できるようにしている。	・職員間での“報・連・相”を大切にしてチームで次の療育へしっかりつなげられるようにする。
2	活動内容が固定化しないように工夫し、楽しく,チャレンジしたいという気持ちが芽生えるように活動や環境を整えている。	・職員も子ども達と一緒に活動に参加しながら、やってみて難しい部分やもう少し工夫が必要な部分を気づけるようにしている。	・子ども達が笑顔で活動に取り組めるように、これからも一緒に活動に取り組み身近で体感して支援サポートできるようにする。
3	こどもの主体性や自己選択を大切にし「できた!」を増やせるようにしている。	・子ども達がなんでも話せる環境を作り、その中で一人一人にあった選択肢を探していきながら苦手を減らし成功体験を増やせるようにしている。	・普段の会話の中からこどものアセスメントをとり、職員同士で共有・検討して様々な視点から考えられることをさぐり一人ひとりベストな支援ができるようにする。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者同士やきょうだい児同士の交流機会が少ない。	・保護者同士の交流の機会の場について設けられずにいる。開催時期や内容を検討でとまっている。	・保護者アンケートから交流の場の必要性を感じているので親子レクなどを企画して交流の場を作るようにする。
2	家族支援（ペアレントトレーニング等）の実施・充実が課題	・送迎やモニタリングにて保護者の悩み事を聞いたりしているが助言に戸惑うこともある。 ・保護者向けの研修の情報収集ができていない。	・引き続き、送迎の際に困ったときの相談は関係機関と連携しながら随時行っていく。 ・SNSや他事業所からの情報をもらいながら保護者向けの講演会なども発信できるようにする。 ・今後ペアレントトレーニング実施予定。
3	日常活動の様子についてより定期的な発信が必要 (どんな活動内容か連絡帳を通して伝えているがなかなか保護者まで行き届いていない)	・長期休暇やお出かけの際の様子をSNSやInstagramでの発信は行っているが日常の様子の発信が少ないかなと感じる。 (家庭まで療育内容が行き届いていない)	・日々の活動の様子も定期的に発信し、保護者への情報共有を充実させる。(家庭・事業所で連携して支援できるようにする) ・今後、保護者との連絡が取りやすいようにするためのソフト導入を検討中。